



ひと・そら・みどりがつなぐ響(とよ)むまちとみぐすく

とみぐすく

※みんなで議会を傍聴しよう(6月定例議会傍聴人…8名)

市議会だより

第163号
2013年9月5日

～6月定例議会～

会期：平成25年6月5日～平成25年6月21日



▲字伊良波の綱引き

目次

一般質問(徳元 次人 議員・新垣 亜矢子 議員) …… 2P	一般質問(外間 剛 議員・大田 正樹 議員) …… 11P
一般質問(儀間 盛昭 議員・与那覇 清雄 議員) …… 3P	一般質問(宜保 安孝 議員・赤嶺 勝正 議員) …… 12P
一般質問(當銘 保之 議員・金城 吉夫 議員) …… 4P	平成25年 第3回豊見城市議会定例会審議結果 …… 13・14P
一般質問(亀谷 守之 議員・赤嶺 吉信 議員) …… 5P	平成25年 第3回豊見城市議会定例会について(審議事項) …… 15・16P
一般質問(瀬長 美佐雄 議員・山川 仁 議員) …… 6P	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議 …… 16P
一般質問(大城 吉徳 議員・比嘉 秀雄 議員) …… 7P	編集後記 …… 16P
一般質問(照屋 真勝 議員・照屋 つぎ子議員) …… 8P	
一般質問(仲田 政美 議員・佐事 安夫 議員) …… 9P	詳しい内容についてはホームページをご覧ください。
一般質問(赤嶺 一富 議員・瀬長 宏 議員) …… 10P	

発行 / 沖縄県豊見城市議会
議長 屋良国弘

編集 / 議会だより調査特別委員会
委員長 照屋つぎ子

〒901-0223 豊見城市字翁長 854 番地1
電話(098)850-0025 FAX(098)850-6444

ホームページ : <http://WWW.city.tomigusuku.okinawa.jp/gikai/>
Eメールアドレス : gikai@city.tomigusuku.okinawa.jp

一般質問

日本初の公道レース開催に向けて!!



徳元次人 議員

問 スーパーGTとは、日本を代表する国内最高峰のモータースポーツイベントであり、観客動員数も6万人と日本一を誇る。これが本市で実現すると国内初の公道レースとなり、

メディアを通じて豊見城市を全国、アジアに向けアピールできる絶好のチャンス。開催に向け、本市の取組み体制を伺う。

答 本市として地域住民や企業など道路利用者の同意形成が得られていること、同レースを開催することで毎年数万人の観光客の集客が見込まれ、市内企業への経済効果が図られること、安定した組織体制で企画運営するのであれば市としても地域活性化のため協力していく。

問 豊崎地区にマリナー建設はホテル誘致。企業誘致に対して効果的と考えるがどうか。

答 豊崎地区にマリナー建設は豊崎地区のみならず与根、瀬長の西海岸地区二帯にホテル



実現させよう!!国内初公道レース!!

や企業を誘致し、エアウェイリゾート形成を推進していくための一つの考え。今後、法律上の問題、ニーズ、費用対効果など調査研究する。

問 児童派遣費を事前に交付できないか。

答 生涯学習振興課長 他市町の事例も参考にし、概算払いの手続きに課題はないのか検討し、交付手続きを見直す。

問 消防タンク車は運用開始から30年

が経過。初動体制としてタンク車は欠かせない。単費でも整備する必要があらうと思うがどうか伺う。

答 総務部長 老朽化し使えなくなるものをほうっておくわけにはいかないので実施計画を立て単費でも整備していく。

問 その他の質問

- ・アゴマゴちゃん活用について。
- ・都市公園について。
- ・高齢者福祉について。

待機児童解消に大きく前進を!



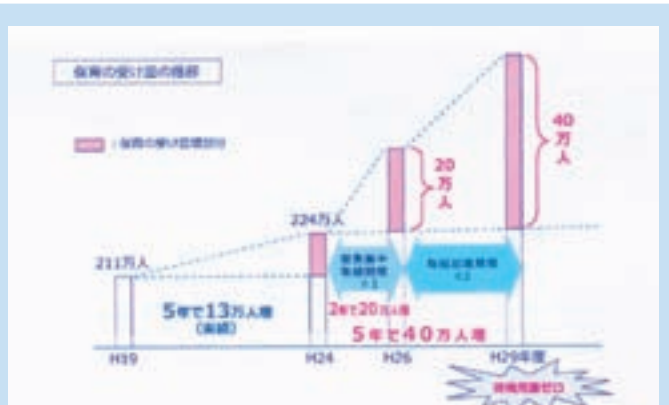
新垣亜矢子 議員

問 保育行政について

- ①本市の待機児童数と解消策について。
- ②認可保育園を新設した場合と株式会社等による保育園設置をした場合の財政負担額、保護者への

答 児童家庭課参事

- ①平成24年4月の待機児童数は112名、平成25年4月現在待機児童数は124名。今年度の待機児童解決策は、前年度から



待機児童解消加速化プラン

施設への支援を掲げ、6月4日付で保育士の基準を緩和し認可化移行を支援している。本市も今後認可化を希望する認可外保育園や株式会社等を公募により幅広く募集し選考委員会において決定していきたい。

問 その他の質問

- ・平成25年度外国人英語補助員A.L.T配置人数、話せる身につく英語の授業の提供、本年度二括交付金活用計画について。
- ・公立幼稚園2年保育全校実施と給食の早期対応、土曜日保育実現の課題について。
- ・豊崎地区日本初公道GTレース計画、観光客誘致活動について。
- ・本市のビジネスチャンス、通訳となる地元人材の育成、観光協会事務局強化について。



安全性高まる「分離式」へ改善を!

答 経済建設部長
平成23年度

見直しはしない

安全性高まる「分離式」へ改善を!
安全性高まる「分離式」へ改善を!
安全性高まる「分離式」へ改善を!

問 上田 校分離
校と50mに隣接、不発弾処理早期解決のため市の土地利用計画を変更すべき。不発弾の不安消えて開校迎えられるかどうか。

不発弾は全て解決を

不発弾は全て解決を
不発弾は全て解決を
不発弾は全て解決を

問 市長は憲法アンケートで9条、96条を変えるべきと答えている。自民党改正草案は、立憲主義破壊、国家権力を縛る憲法から、国民を



儀間盛昭 議員

答 市長 「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」自衛隊が憲法違反と解釈される、その矛盾を無くす改憲が必要。9条と96条以外は深く議論しておりませんが、時代の要請、新たな課題に対応した改正草案だ。

縛る憲法への改正と見るが、市長の評価はどうか。

国民主権の平和憲法を守る

問 豊崎総合公園整備事業において市民の健康維持増進・スポーツ技術の向上に寄与する施設として「市民体育館」の整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置



与那覇清雄 議員

豊崎総合公園市民体育館について

整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置
整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置
整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置

整備事業において市民の健康維持増進・スポーツ技術の向上に寄与する施設として「市民体育館」の整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置

答 都市施設課長

①総事業費、約21億円。国費で10億5千万円。工事期間は平成25年7月から平成26年8月の約14ヶ月間を予定。面積は、1階5千82㎡、2階2千648㎡、屋上85㎡、全体面積7千816㎡である。

側が平成16年度から平成26年度の11年間、国道331号バイパスより東側が平成22年度から平成27年度までの6カ年となっている。多目的広場や東屋、管理事務所、トイレ、体育館などを主な施設として整備を進めている。総事業費は約96億円。内国費が48億円。進捗状況は、平成24年度末、事業費ベースで施設費47%、用地費99・1%であり、全体で72・1%となっている。

②構造・階数は鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上2階建て。体育館観覧席、1階移動観覧席700席、2階固定観覧席1千416席、うち車イススペース8

席含む。共用開始は平成27年4月。

整備事業において市民の健康維持増進・スポーツ技術の向上に寄与する施設として「市民体育館」の整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置

整備を行う。また、「エアウェイリゾート豊見城」と位置



完成が待たれる市民体育館

問 豊崎総合公園について

全体事業概要、事業期間、総事業費、進捗事業について伺う。

答 都市施設課長

豊崎総合公園整備事業は、国道331号バイパスより西

市民が安心、安全に暮らせる更なる行政実現を



議員 當銘保之

問

県道東風平、豊見城線の延長路線になる字高安地域から八重瀬町東風平までの事業採択に向けての取り組み、進捗状況を伺う。

答

経済建設部長 県道東風平、豊見城線の字高安地域から八重瀬

問

町東風平までの約4.5キロメートル区間については、平成24年度に概略設計を行ったところであり、今後、豊見城市及び八重瀬町と連携しながら計画ルートを検討し、事業採択については現在実施中の字上田から字翁長区間の進捗状況や予算等を踏まえ検討して行くとのことであります。

問

市道425号線字渡嘉敷地内の道路改良工事について、早期の事業計画着手

答

経済建設部長 市道425号線の施設整備工事については、今年度



道路施設工事実施が待たれる市道425号線（渡嘉敷地内）

道路は観光資源の一つ 適切な管理が必要



議員 金城吉夫

問

県道249号線は、豊崎地域への玄関口であるが、街路樹及び分離帯の植栽の現状は、国内外からの観光客や訪問客をお迎えする道路としては管理が不十分と思

答

学校教育部長 市内幼稚園、小学校のうち、耐震化が必要

問

各幼稚園、各小中学校の校舎、体育館等、耐震化計画実施に向けての具体的な取り組み、進捗状況を示していただきたい。

問

に道路側溝の未整備箇所や路面舗装の老朽化等が見られる区間の整備を行うこととしており、6月に実施設計業務を行い、10月には工事発注をし、年度内完了を予定しております。

答

道路課長 県南部土木事務所が管理主体。ヤシの枯れ葉除去については、パトロール車で巡回しながら処理し、除草作業については現場状況に応じて対応すること。県道249号線は豊崎の観光振興地域へのアクセス道路として重要な路線と認識しているが、近年、国、県、市町

られる。

問

国、県の道路管理者に強く働きかけてもらいたい。

答

市長 議員言われるとおり、民主党政権の事業仕分けで維持管理予算が大幅にカットされ大きな問題となった。そこで、市町村長の集う沖繩八シゴ道路ネットワーク建設促進期成会など、道路六団体の総会において内閣府や国交省、関係大臣あてに要望書を提出し、また

除去後のサングサの状況



ギンネムの除去が急がれます

問

南部振興会が主催する総合事務局との意見交換会でも常に要請をしております。亜熱帯の沖繩は北海道等とは草の伸びが全く違うと思っておりますので、引き続き南部振興会、市長会等でしっかりと声を挙げて県道、国道、市道の予算獲得に全力で取り組みます。

答

生活環境課長 市民からの要望に基づき捕獲器設置や看板設置等を行いたいと考えている。

問

教育の日を制定することについて伺う。

答

学校教育部長 那覇市は制定していません。市教委では平成23年度に検討したが継続となる。

その他の質問
・消防行政について。

保育行政について



亀谷守之 議員

たい。

問

待機児童の8割を占める低年齢児の中でも1、2歳児が圧倒的に多い。この1、2歳児だけで待機児童全体の約7割を占めていることから、一括交付金などを活用して、主に0から2歳の低年齢児を受入対象とする保育施設を設ける考えはあるか何う。

答

福祉部長 毎年4月1日の待機児童ゼロを目指して頑張ります。

問

待機児童の約77%を占めており、待機児童の解消のためには0から2歳児を受入対象とする保育施設が必要と認識しています。補助メニューの安心子ども基金に賃貸物件による保育所整備事業があるので、今年度からこの事業を活用して、認可保育園の分園を

問

保育サービスの拡充を図るため、保育行政に精通した専従の保育相談員を配置する考えはあるか何う。

答

福祉部長 本市も保育コンシェルジュの窓口配置について調査、研究をしてまいります。

問

転入、転居、出産の際、同時に手続きを

促進し、0から2歳児の待機児童の解消に努めたい。

答

市民課長 ご提案については、市民のニーズでも図りながら、全庁的な協議の場で中長期的な検討が必要だと考えている。

豊崎地内への分譲が事業化へと進む豊崎漁民村



赤嶺吉信 議員

漁民村について

問

豊見城村地先開発事業に伴って漁業振興として糸満漁協与根支部と瀬長支部との中で漁民村の住宅用地について

確認書が交わされた平成八年四月以降、長期にわたって放置された状況であり早期の事業計画を進めべきだと考えます。そこで伺います。
 ①この確認書を実施する計画があるか伺います。
 ②計画があれば、次の事項について伺います。
 (ア)分譲対象正組合員は何名いらっしゃるのか。

答

経済建設部参事 藍 漁民村の①実施

(イ)一人当たりの分譲面積は何平方メートルあるのか。
 (ウ)住宅用地の分譲価格ほどの程度を予定しているのか伺います。
 予定について、事業実施に向けました次期議会への議案提出を予定しております。②具体的な計画について、(ア)分譲対象正組合員は糸満漁業協同組合の平成八年度総会時点において、豊見城村に住所を有する正組合員79名となっております。(イ)一人当

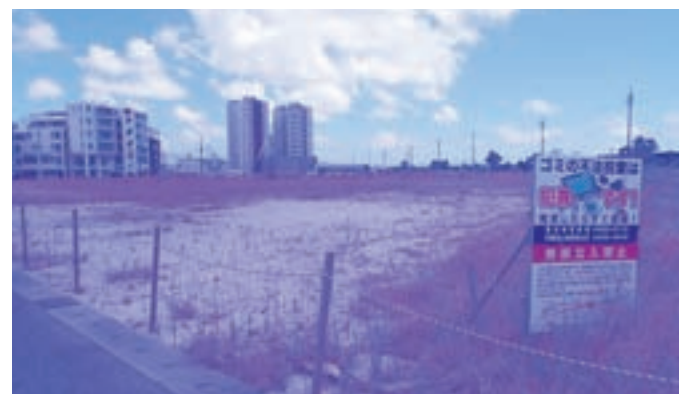
問

スポーツ施設整備について、建て替え検討する時期に来ているが、競技場本体の建替えを考えているのか、それとも競技場周辺を含めた施設全体を考えているのかを伺います。

答

生涯学習振興課長 地盤沈下の測量

結果も踏まえ、陸上競技場の改修のあり方、一括交付金も含めた事業採択の可能性などについて検討してまいります。



事業化が確定した豊崎漁民村

りの分譲面積は、区割りによる減歩等を考慮し、約51坪、約168平方メートルを予定しております。(ウ)住宅用地の分譲価格は、糸満漁業協同組合の配分金を正組合員数で除した額、一坪あたり約10万円を予定しております。

学童クラブ支援など 子育て施策の拡充を



瀬長美佐雄 議員

家賃補助、母子・父子世帯の保育料軽減実施を

問

家賃補助は那覇市、浦添市、南風原の保育料負担軽減の支援を浦添市が実施しえおり、市独自の子育て支援事業としての実施を求める。

答

児童家庭課長

家賃補助については、放課後児童健全育成事業に対する補助基準額が増加しており、市の財政状況等から市独自で家賃補助は大変きびしい。母子・父子世帯を含めた保護者の負担軽減を学童クラブ独自で実施している学童クラブもあり、その学童クラブの運営状況等を検証し、比較研究する事で、市内全体へ広めたい。



豊見城ニュータウン入口の改善を

南斎場関連予算について

問

予算執行済みの①斎場用地購入費と平均単価②立木補償の総額、総本数、最高額、最低額を明らかにする事。

公金支出の開示しない

答

振興開発課長

①全地権者と契約が完了しておらず、公にすることににより地権者との信頼関係を損ね、交渉の不調と事業の進捗に支障をきたすおそれがあり、公表はさし控えたい。

問

南部広域からの振興費はどの事業

②補償価格の積算根拠に関する情報は非開示情報である事から公表できない。最高裁の判例においても非開示情報になっている。

答

総務部長 南部広域市町村圏事務組合からの振興費は、H25年度一般会計当初予算において、本市の施策を推進する貴重な財源として幅広く有効に活用している。地域住民の要求に対応可能。

その他の質問

- ・子ども議会開催求める。
- ・豊見城ニュータウン入口の右折帯確保について。
- ・農業後継者育成を。

思いやりのある やさしいまちづくりを



山川 仁 議員

問

思いやり駐車場という、身障者のみならず、妊婦、産後や身体などをケガしている方々も、利用しやすい場所や表記を行うのも福祉サービスと思うが伺います。

答

生涯学習部長

利用者に対して分かりやすく丁寧な案内になると考えますので、利用者の状況把握と合せて各施設への設置が可能か検討していきたい。

本市の防災計画が見直され、災害弱者への支援体制の強化を

問

災害時の緊急時の支援体制について、与根地域には、災害弱者が約376名。津波が発生した時の到達時間は約27分。与根、瀬長、豊崎地域などに住んでいる障がい者をはじめ災害弱者といわれている方々の把握がどこまで出来ているか伺います。

答

総務課長 要援護者の名簿等については、まだ作成できていない状況です。今後、避難支援プランが早期に作成できる様、関係部署と連携しながら進めたい。

問

各市町村との連携も取りつつ、勉強会等をするべきと思うが伺います。

答

企画部長 県の実現化戦略や方向性、国の調査や新たな制度、枠組み等のスキームが見えてきた時点で、南部自治体と協調しながら調査研究、あるいは勉強会の開催などを検討していきたい。

その他の質問

- ・本市の障がい者の就労の場について。
- ・男性特有の前立腺がんについて。
- ・農家所得の向上とTPP対策について。
- ・那覇空港から瀬長島経由でLRT敷設について。



市民全体で思いやりのある取り組みを

憩いの場づくりについて



大城吉徳 議員

問

那覇空港自動車ゲートボール場として利用できるよう検討できないか伺います。

答

経済建設部参事監 桁下の利用については、今後、具体的には来年度になりますが、引き続き中心市街地活性化



桁下利用で憩いの場づくりを

民の利便性の向上が図られると思いますが、製造業者の設備投資等も必要であり、コストがかかるということもあり、県内各市の動向や製造コスト等を総合的に勘

ごみ袋について

問

本市のごみ袋に「U字型ごみ袋」も一部導入できないか伺います。

答

生活環境課長 U字型のごみ袋については、口が縛りやすい

問

案し、導入できるかどうか情報収集を行ないながら検討していきたいと考えております。

答

生活環境課長 饒波川の水質調査についてであります。夏・冬2回の水質調査を実施しております。饒波川における観測地点は饒波橋、川崎橋、高入端橋、

瀬長島を、ふれあい・いきいの島へ



比嘉秀雄 議員

問

瀬長島観光拠点整備計画が策定されました。瀬長島の魅力を十分活かし整備を推進していただきたいと思いま

問

石火矢橋の4地点となっており、BODから見ますと河川環境はよくなっているものと考えます。

答

生活環境課長 饒波川の水質調査についてであります。夏・冬2回の水質調査を実施しております。饒波川における観測地点は饒波橋、川崎橋、高入端橋、

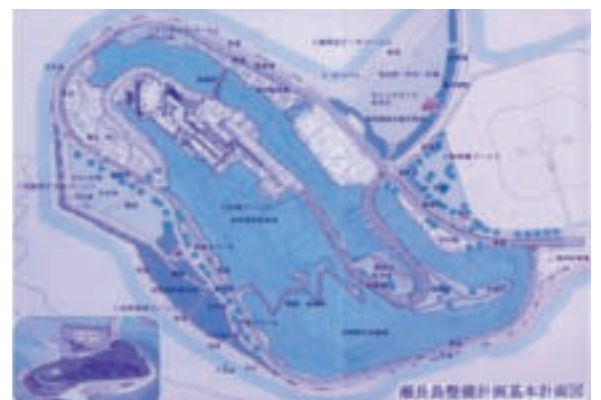
問

沖縄県消防通信指令施設運営協議会において、事業推進中の消防救急デジタル無線並びに消防指令センターの整備

答

経済建設部参事監 整備手法としては、一括交付金の活用を考

計画について伺います。 整備手法として、また、事業計画としては、国有地部分の西海岸テラスゾーンを年度内におおむね完成させ、順次、自然海浜ゾーンや展望台のある山地ゾーン、周遊道路等について整備してまいります。



瀬長島の魅力を十分活かし、整備推進を!

問

与根地区は、航空機騒音の環境基準を常に超過しており、計画

答

環境影響評価書における知事意見への回答や航空機騒音に係る環境保全措置に対し、協議や要請など内容が踏まえ適切な対応を行うとともに、今後、関係機関と密接な協議を重ね、増設滑走路による確実な航空機騒音の軽減が実現できるよう取り組んでまいります。

本市特産品の海外への販路拡大はできるのか



照屋真勝 議員

問 新竹市との縁は国際ビジネススマッチング事業がきっかけで、市長自らの手でその縁を引っ張りこんできました。新竹市との交流が実を結ばなければ、せっかく国の補助事業

を導入したのに税金の無駄使いだつたことになってしまいます。宜保市長は出馬の際、「アジアをターゲットとした新たな観光産業を構築し、観光客の誘致、並びに安心・安全で高級感をセールスポイントとした特産品の販路拡大」と歴代市長にはなかった事を訴えました。私は市長の任期中に是非ともこの政策を目に見える形にしたい。職員の皆様にはしっかりと市長をサポートしてほしいと願っています。市長の考え方を伺います。もう一つ、国際ビジネススマッチング事業はコンサルがやったのであって市職員がやったのではない。



本市特産品を直接売り込みたい宜保市長、市職員は？

員の皆様にはしっかりと市長をサポートしてほしいと願っています。市長の考え方を伺います。もう一つ、国際ビジネススマッチング事業はコンサルがやったのであって市職員がやったのではない。

補助事業終了後も継続してこの事業を担当課ができるのか、やる気があるのか伺います。

企業のやる気が重要

答 市長 具体的には豊見城市では新竹市の特産品の販路拡大のお手伝いをして、新竹市では本市特産品の販路拡大ができればと考えています。

照屋議員提案の、新竹市の祭りやイベントの場を活用した特産フェアができれば低予算でできます。その

ためには新竹市の協力や企業のやる気が重要となります。担当課と智慧を出し合つて気運を高め、実現に向かつて取り組みたい。

情報提供、アドバイス

答 企画部長 現時点では市単独で新竹市との直接交流というよりも県がやっている海外との特産品フェアや、情報提供・アドバイス等を行つていきたく取り組んでいるところです。

かかつてしまうと本人家族共に影響します。どこで誰が感染するかわかりません。希望者全員が受けられるようにすべきではないか。予防接種のよびかけが広報等で行われているが希望者には受けやすいよう促進するために、区長会でのよびかけ、自治会での放送、チラシ配布などの促進を行う。又、役所職員の受診

風しん予防接種は希望者全員へ促進を



照屋つぎ子 議員

問 風しん罹患者の全国的な広がりで、

予防接種への助成が求められ、自治体独自の実施も広がり、豊見城市でも急遽実施する事に。100人の予定との事ですが、風しんは

かかつてしまうと本人家族共に影響します。どこで誰が感染するかわかりません。希望者全員が受けられるようにすべきではないか。予防接種のよびかけが広報等で行われているが希望者には受けやすいよう促進するために、区長会でのよびかけ、自治会での放送、チラシ配布などの促進を行う。又、役所職員の受診



予防接種を受けて元気な子を

問 子どもの医療費無料化通院分の年齢引き上げ、窓口無料化を求める立場だが、県は自動償還の導入の整備を進めているとの県議会答弁だが、市の対応を伺う。

答 児童家庭課長 自動償還が実施されると、受給者が直接児童家庭課の窓口に来て助成申請する事なく、医療機関の窓口での申請になります。

答 健康推進課長 出生者数など考慮し、25%100人と見込みました。期間を7月1日から10月31日までと設定するが、状況を見て柔軟に対応したい。一律4千円の助成とする。市ホームページ、広報などへ掲載、区長会などあらゆる機会を通して対応したいと考えています。

人事課長 5月17日付、全職員、全臨時職員、全嘱託職員向けに注意喚起を行った。
子ども医療費自動償還
払い26年4月実施に

福祉部長 自動償還の試験導入が、平成25年11月うるま市、26年1月に那覇市、沖縄市となつています。本市は26年4月導入に向けて関係機関と調整していきたい。
その他の質問
・少人数学級について。
・体罰について。
・生活保護基準引き下げによる影響について。
・パーソナルサポート事業について。

豊見城市初の観光大使 のアゴマゴちゃん誕生



仲田政美 議員

問 観光大使創設の進捗状況をお伺いします。

答 観光大使創設の進捗状況をお伺いします。

問 観光大使創設の進捗状況をお伺いします。



豊見城市イメージキャラクター
アゴマゴちゃん

花の「ブーゲンビリア」の鉢植え等で整備を図る考えはないか見解をお伺いします。

答 平成25年度環境整備事業として、豊崎地区の地域全体を観光地区と位置づけて、花木、鉢物の設置及び除草清掃を予定しており、市を挙げて豊崎地区の観光振興に努める。県道東風平豊見城線については、南部土木事務所に今後要請をしていきたい。

問 待機児童解消について市独自の認証制度導入により、待

機児童解消が図れないのか、見解をお伺いします。

答 福祉部長 認証保育園制度の導入については、待機児童の解消対策としては効果的な制度でありますので、検討していきたいと思えます。

問 子ども医療費について

答 那覇市同様、本市においても子ども医療費の自動償還払いを早期に導入する考えはないか見解をお伺いします。

答 福祉部長 平成26年4月の実施に向けて。

け、関係機関と調整をしていく考えでございます。

問 その他の質問

・認可外保育園の支援について。
・ごみ袋の改善について。
・選挙の投票率向上について。

・県道7号線FMとよみ付近へ信号機設置について。
・伊良波小中学校の通学路へ信号機設置について。
・豊崎小前の信号機設置について。

・市道286号の逆走車の改善について。

サバキナ避難壕は戦争遺跡として保存を



佐事安夫 議員

問 市道5号線沿いに「戦争遺跡であるサバキナ地域の避難壕」があります。沖縄戦当時宇伊良波の住民が避難したと豊見城市史第六巻、戦争編に記載されています。字名

嘉地の住民も同場所を利用しています。国が求めた戦争遺跡の場所として、市が報告したもの一つとしてサバキナ壕が入っています。市道5号線は県道との交差点手前が狭く、交通に支障を来しており、地元から拡幅の要請をしている。安全対策は早急に取りくむべきと考えます。道路工事と文化財行政の



戦争遺跡として残っているサバキナの避難壕

するよう意見として回答した。しかし、やむを得ない場合は、地域に残る重要な戦争遺跡として記録保存調査の実施協力を申し入れたい。

問 肺炎球菌ワクチン接種の実績と今年度の計画、75才以上を対象としてワクチン

接種助成事業が昨年から始つています。ワクチン接種者数、率、前期高齢者にも助成する考えは。

答 健康推進課長 ワクチン接種対象者3千978人、実績は1千111人、接種率25・4%です。成人用肺炎球菌は国で結論に至ってませんので市も予定ありません。

問 経済建設部長

十数年前から地域の強い要請がある。平成25年度に通学路の安全確保を図る目的で道路拡幅事業としてとりくんではいる。事業工程は7月から詳細設計、用地交渉をし、25年度内で工事完成を予定。

答 文化課長 文化財は基本的に現状保存で活用すべき、今回の確認依頼も壕の現状を変更せずに保存

文化財は基本的に現状保存で活用すべき、今回の確認依頼も壕の現状を変更せずに保存

文化財は基本的に現状保存で活用すべき、今回の確認依頼も壕の現状を変更せずに保存

安心して安全な街づくりについて



赤嶺一富 議員

問

市内全体の通学路に古くて壊れているガードレールが設置されている。

①危険箇所の安全対策を必要があると思うが、計画があるか何う。
②市道39号線嘉敷(つばみ

答

経済建設部長

保育園)から饒波給油所までの区間について何う。

断防止柵は、腐食や損傷が目立ち、歩行者の安全確保に支障をきたしている状況を確認しております。市町村に交付される交通安全対策特別交付金を活用し、緊急を要する箇所については、日常管理の中で安全対策を講じます。



平成26年度予算で改修されます

問

琉球温泉瀬長島ホテルについて

平成25年4月から現在までの温泉ホテルの利用者数について何う。

平成26年度について

②平成26年度につきましては、計画として上げて、今後それが達成できるよ うに取り組んでいきたいと考えております。

答

総務課長

4月から5月末までの、宿泊客が約4千300名、温泉利用客が2万400名であります。

①議員ご指摘の道路施設のガードレールや横断防止柵は、腐食や損傷が目立ち、歩行者の安全確保に支障をきたしている状況を確認しております。市町村に交付される交通安全対策特別交付金を活用し、緊急を要する箇所については、日常管理の中で安全対策を講じます。

問

4月から現在までの入湯税について何う。

答

税務課長

3月分の入湯税が159万4千350円。4月分は、税額130万9千500円となっている。

問

遺伝子組み換えパバイヤについて

台農5号について何う。

①生産者への苗の配布状況について何う。
②パバイヤの品種について何う。

答

経済建設部長

①についてお答えします。平成23年度、代替苗の配布は、戸数16戸、配付本数561本です。
②についてお答えします。品種について、農家の要望等を検討し、3品種、台農2号フルツタワーオキテングの中から、代替苗とし、本数は伐採本数に応じて、提供しております。

できる事もやらなければ 待機児童は増えるだけ!



瀬長宏 議員

問

①4月1日の待機児童数と入所待ち数は何名か。

②市立上田保育所の建て替えで定員増を実施する考えはないか。
③公有財産や農地等に市

答

児童家庭課長

①待機児童数は124名で、入所待ち数は367名です。

②市立上田保育所の建て替えですが、公立保育所の施設整備に係る補助制度がなく、今後は民営化の促進を図っていききたい。

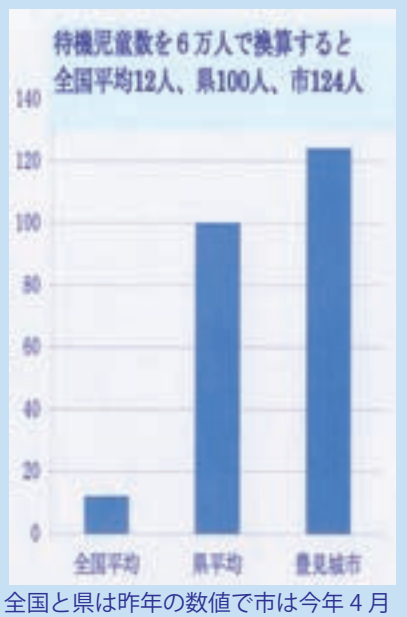
問

市立は憲法改正に賛成

③公設民営でなく、民間の活力を利用していく。上田保育所、補助制度がないと言われませんが、「地域の元氣臨時交付金」が公立保育所の施設整備の補助に充当できると北村内閣大臣が国会で答弁しており、皆さん知らなかったという話なんですか。豊見城市にも国有地の提供が可能な場所があり、活用をすべきではないか。

答

市長 憲法9条2項は自衛隊が、憲法違反になると解釈されてもおかしくない、その矛盾をなくすためにも改憲が必要と考えており、96条改正に賛成する理由としては3分の1以上の国会議員が反対すれば、国民の改憲可否を判断する権利が失われることとなります。生活に即した内容に改正するため96条の改憲は必要であると考えています。





開発の進む西海岸地区

独自の跡地利用の考え方や跡地利用構想を策定して、記者発表したことにより広く方向性を示せたと思う。今年度は、城跡公園文化観光資源検討委員会を立ち上げ、城跡全体の整備計画や整備

一括交付金活用の3調査事業について



外間剛 議員

問

瀬長島、豊見城城跡公園跡地、西海岸地区調査業務3事業及び中心市街地調査事業について次の点を伺う。

- ①各事業の評価について。
- ②事業の実現性、実効性について。

答

経済建設部参事監 瀬長島について

は、昨年度、瀬長島観光拠点整備計画を策定、今年度は詳細設計を実施し、国有地部分の工事に着手する。順次、工事を前倒して早期に整備していきたい。城跡公園跡地については、市

③調査を継続する事業があるか。

手法を検討し、管理運営のあり方等を議論していく。西海岸地区は、地区を6つにゾーニングし、ゾーンの課題・利用方針を整備しており、目指す姿を関係部署の中で共有できていると思いい、今後は連携しながら具体的な整備計画を検討・実施の調整をしていく。中心市街地については、庁舎等の公共施設を主体に3ケースに絞り、一定の方向性を見出すことができた。今後は、各ケースを深掘りし

新保育園開園まで、1年と10ヶ月！



大田正樹 議員

保育行政について

問

①H27年開園に向け具体的なスケジュールは。

②既存認可園から要望の高い1法人2施設制度を

答

児童家庭課参事

①今年度、希望者を公募し豊見城市保育所を公募し豊見城市保育所

③現在児童措置費本市負担額が4億6千万円だが、新園開園にあたりどの程度増加するか。

設置運営法人選定委員会で設置者を決定。次年度に保育所建設を行い26年度内に完成予定しています。

問

子どもの保育環境を考慮して議論さ

待機児童について



子供達にとって、素晴らしい環境の園になる事を望む

答

児童家庭課参事

議員が言われる横浜市の課題等も十分踏まえながら新園設置の選定委員会におきまして慎重に設置を選定していきたいと考えております。

航空騒音測定事業について

問

観測データをもとにどのように国に訴え、施策を図っていくか伺う。

答

生活環境課長

騒音測定により現状把握を行っており、データをどのように有効に活用するかは、那覇空港の増設滑走路事業と関連します。企画部を含め協議していきたいと考えています。



瀬長島球場にナイター設備が導入されます

水泳指導を通して
みみの4校が実施し
ており、既に現在、
上田、豊崎、とよ
が、今年度は長嶺、
校でありました2
校でありました2
校でありました2

答 学校教育課
参事 昨年
度は体育活動支援
コーディネーターを
活用した学校は2
校でありました2
校でありました2

問 今年度の
取り組み状
況について伺いま
す。

童が増えました。
なつたと答える児
童が増えました。

答 学校教育課参事
1番目に、担任が中

援コーディネーター事業の
成果を伺う。

問 昨年度よりスター
トした体育活動支



宜保安孝 議員

「知・徳・体」のバランスの 取れた教育を推進

心になつて指導を行つて、体
育支援コーディネーターは
担任の指示のもとで模範演
技を行つたり、運動の苦手
な児童に技術指導を行うこ
とができました。2番目に、
例えば跳び箱が飛べなかつ
た児童が飛べる様になつた
り、サッカーのボールの運び
が上手になつたり等、技術
指導を中心に行うことで、
今まで以上に体育が好きに
なつたと答える児

担任と一緒に子どもたちの
指導に当たっている。

は農業振興の農用地区域
でない為、補助事業の導入
が厳しい。

問 伊良波排水路
(字上田西後原)は

答 経済建設部長
字上田西後原地域

整備が必要だと考えるが、
見解を伺います。

流され、農業従事者が自費
で対策を行つてきたが限界
がある。調査を行い早急な
整備が必要だと考えるが、
見解を伺います。

等から大雨の際は畑の土が
流され、農業従事者が自費
で対策を行つてきたが限界
がある。調査を行い早急な
整備が必要だと考えるが、
見解を伺います。

字饒波の古蔵工業前交差
点の安全対策について。

・瀬長島球場の整備計画に
ついて。

・国歌「君が代」を歌える
ようにちゃんと指導した
かについて。

道路行政について



赤嶺勝正 議員

問 市道49号線へ歩
道と排水路を設置

すべきだが見解を伺いま
す。

答 道路課長 市道49
号線は民間開発区

間において排水路整備が

・市道25号線(上田、渡嘉
敷)の整備計画について。

・字饒波の古蔵工業前交差
点の安全対策について。

・瀬長島球場の整備計画に
ついて。

・国歌「君が代」を歌える
ようにちゃんと指導した
かについて。

問 市道22号線の一
部改良工事の進捗

状況について伺いま
す。

答 道路課長 市道22
号線は、平成25年

状況について伺いま
す。

・市道25号線(上田、渡嘉
敷)の整備計画について。

・字饒波の古蔵工業前交差
点の安全対策について。

・瀬長島球場の整備計画に
ついて。



安心安全な対策を

度新規事業として6月10
日付で交付決定通知を受
けています。今年度は実
施設計業務を発注し、年
度内完了予定となつてい
ます。なお、次年度にお
いては、不動産鑑定及び
物件補償業務を行う予定
です。

答 道路課長 市道225
号線は、排水路と

整備も終了し地域住民か
らも喜ばれていますが、
転落防止安全対策の状
況、道路幅員確保につい
て伺います。

道路の高低差が大きく、
水路への自動車及び通行
人の転落のおそれがある
ことから、安全対策が必
要と認識しています。対
策として早急に検討し、
擁壁及び防護柵を10月こ
ろに発注し年度内完了す
る様取り組んでいます。

道路幅員については、現場
状況を確認し、道路機能
が最大限生かせるように
したいと考えています。

その他の質問
・県道東風平線など。

問 市道225号線沿い
の幹線5号排水路

安全・安心な排水路

平成25年第3回豊見城市議会定例会（6月議会）審議結果

議案番号	《予算案》 件 名	経 過	結 果
議案第36号	平成25年度豊見城市一般会計補正予算（第1号）	総務財政 委員会付託	原案可決
議案第37号	平成25年度豊見城市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	経済建設 委員会付託	原案可決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて （平成24年度豊見城市一般会計補正予算（専決第1号））	即 決	承 認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて （平成24年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	即 決	承 認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて （平成25年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	即 決	承 認

議案番号	《条例案》 件 名	経 過	結 果
議案第38号	豊見城市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	即 決	原案可決
議案第39号	那覇広域都市計画事業宜保土地区画整理事業施行条例及び那覇広域都市計画事業中心市街地土地区画整理事業施行条例の一部改正について	即 決	原案可決
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて （豊見城市税条例の一部を改正する条例）	即 決	承 認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて （豊見城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	即 決	承 認

議案番号	《その他議案》 件 名	経 過	結 果
議案第40号	指定管理者の指定について（豊見城市観光プラザでいぐま館）	総務財政 委員会付託	原案可決
議案第41号	財産の取得について	即 決	原案可決
議案第42号	訴えの提起について	経済建設 委員会付託	可 決
同意案第3号	教育委員会委員の任命について	即 決	同 意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	即 決	適 任

議案番号	《報告》 件 名	結 果
報告第4号	平成24年度豊見城市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第5号	平成24年度豊見城市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
報告第6号	平成24年度豊見城市水道事業会計予算繰越計算書について	報 告
報告第7号	専決処分の報告について（座安小学校校舎建設工事（建築）（1工区））	報 告
報告第8号	平成25年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書について	報 告

議案番号	《請願・陳情》件名	経過	結果
平成23年 陳情第10号	保険料(税)の値上げに直結する国保「単位化」に反対する意見書採択を求める陳情書	教育民生 委員会付託	継続審査
平成24年 陳情第4号	「公契約法及び公契約条例の制定を求める会長声明」について	総務財政 委員会付託	審議未了
平成24年 陳情第11号	保栄茂非農用地区域予定道路の市道認定陳情書	経済建設 委員会付託	継続審査
平成24年 陳情第13号	「議案、意見書、請願、陳情」に対する議員個々の賛否記録公表実施への陳情	議会運営 委員会付託	継続審査
陳情第1号	無料・低額診療事業対象患者の院外処方に対して薬代全額助成を求める陳情	教育民生 委員会付託	継続審査
陳情第2号	消費税率引き上げの中止を求める陳情書	総務財政 委員会付託	継続審査
陳情第4号	「年金2.5%の削減中止を求める意見書」採択に関する陳情	教育民生 委員会付託	継続審査
陳情第5号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議要請について	教育民生 委員会付託	採 択
陳情第6号	「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書」採択へのお願い	教育民生 委員会付託	採 択
陳情第7号	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	教育民生 委員会付託	採 択
陳情第8号	「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める陳情	教育民生 委員会付託	採 択
陳情第9号	電子黒板の納入における市内業者への優先発注について(陳情)	経済建設 委員会付託	採 択
陳情第10号	那覇空港滑走路増設事業の早期実現並びに増設工事に伴う地元企業及び地元産品の優先使用について(要請)	経済建設 委員会付託	採 択
陳情第11号	地域経済の活性化、中小業者支援の「住宅リフォーム助成制度」を早急に実施することを求める陳情書	経済建設 委員会付託	採 択

議案番号	《意見書・決議》件名	経過	結果
意見書案第4号	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書	即 決	原案可決
意見書案第5号	「義務教育費国庫負担拡充」及び教育条件整備のための意見書	即 決	原案可決
意見書案第6号	「30人以下学級の早期・完全実現」のための意見書 ※国提出	即 決	原案可決
意見書案第7号	「30人以下学級の早期・完全実現」のための意見書 ※県提出	即 決	原案可決
意見書案第8号	那覇空港の航空機騒音の抜本的な軽減及び運用改善に関する意見書	即 決	原案可決
決議案第1号	「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議	即 決	原案可決
決議案第2号	那覇空港滑走路増設事業の早期実現並びに増設工事に伴う地元企業及び地元産品の優先使用に関する決議	即 決	原案可決
決議案第3号	日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の発言に対する抗議決議	即 決	原案可決

平成25年 第3回豊見城市議会定例会について（審議事項）

議案番号	案 件 等	内 容 等
議案第36号	平成25年度豊見城市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ157,845千円を追加し、予算総額を24,666,845千円とするとともに、債務負担行為の補正を行う提案となっています。
議案第37号	平成25年度豊見城市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ11,000千円を追加し、予算総額を29,854千円とするとともに、地方債の補正を行う提案となっています。
議案第38号	豊見城市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	「豊見城城址文化観光資源活用検討委員会」及び「豊見城市新型インフルエンザ等対策行動計画策定委員会」を附属機関として設置するため、所要の改正を行うものです。
議案第39号	那覇広域都市計画事業宜保土地区画整理事業施行条例及び那覇広域都市計画事業中心市街地土地区画整理事業施行条例の一部改正について	地域主権改革等に伴い、関係条文を整理するため、所要の改正を行うものです。
議案第40号	指定管理者の指定について（豊見城市観光プラザていぐま館）	一般社団法人豊見城市観光協会に豊見城市観光プラザていぐま館の管理を行わせるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものです。
議案第41号	財産の取得について	瀬長島観光拠点整備計画事業用地を取得することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求めるものです。
議案第42号	訴えの提起について	市改良住宅の家賃等を長期にわたって滞納している者に対する訴えを提起することについて、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求めるものです。
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度豊見城市一般会計補正予算（専決第1号））	平成24年度豊見城市一般会計補正予算（専決第1号）を、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	平成24年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）を、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（平成25年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	平成25年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）を、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（豊見城市税条例の一部を改正する条例）	地方税法の一部を改正する法律（平成25年法律第3号）が平成25年3月30日に公布されたことに伴い、豊見城市税条例について所要の改正等を行う必要が生じ、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（豊見城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	地方税法の一部を改正する法律（平成25年法律第3号）が平成25年3月30日に公布されたことに伴い、豊見城市国民健康保険税条例について所要の改正等を行う必要が生じ、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により議事に報告し、承認を求めるものです。

同意案第3号	教育委員会委員の任命について	教育委員会委員の任期満了に伴い、その後任を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求めるものです。
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員法第6条の規定により、議会の意見を求め、法務大臣に推薦する必要があることから、議会の意見を求めるものです。
報告第4号	平成24年度豊見城市一般会計繰越明許費繰越計算書について	地方自治法第213条の規定により繰り越した繰越明許費について、同法施行令第146条第2項の規定により繰越計算書を調整し、議会に報告するものです。
報告第5号	平成24年度豊見城市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第6号	平成24年度豊見城市水道事業会計予算繰越計算書について	地方公営企業法第26条第3項の規定により、繰越額の使用に関する計画について議会に報告するものです。
報告第7号	専決処分の報告について（座安小学校校舎建設工事（建築）（1工区））	平成24年第4回豊見城市議会定例会で議決された工事請負契約について、数量等の変更が生じ、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したので、同条第2項の規定により議会に報告するものです。
報告第8号	平成25年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書について	地方自治法第243条の3第2項の規定により、沖縄県町村土地開発公社の平成25年度事業計画について議会に報告するものです。

「しまくとぅば」の普及促進に関する宣言決議

私たちの暮らす沖縄は、日本本土とは異なる言語圏を形成しており、ユネスコの世界文化遺産に指定された琉球組踊や琉球舞踊、芝居、島唄、エイサーなどの内外に誇る独自の郷土文化を開花させてきた。これらの彩り豊かな郷土文化を支え土台となっているのが「しまくとぅば」である。

「しまくとぅば」は、県内各地の暮らしの中で語り継がれ愛着をもって使われてきたことばであり、地域の固有の文化遺産である。

しかしながら、「しまくとぅば」は、過去の標準語励行教育を通じ使用が制限された歴史があり、最近では話すことはもとより、聞くこともできない世代が増加しているため、沖縄の貴重な言語文化の喪失につながりかねないことが危惧されている。

このような中、平成18年沖縄県議会は「しまくとぅば」を次世代へ継承していくため、「しまくとぅばの日に関する

条例」を制定、これに基づいて沖縄県は9月18日を「しまくとぅばの日」と定めた。

私たちは、本条例の趣旨に基づき、脈々と伝えられてきた伝統文化の「灯」を消さぬよう「しまくとぅば」の価値を再認識し自信と誇りを持ちながら次世代へ継承していく責務があると考えている。

よって本市議会は、「しまくとぅば」の普及促進を図り市民一人一人が「しまくとぅば」に対する関心と理解を深め、生活の中で「しまくとぅば」に親しめるようあらゆる努力をすることをここに宣言する。

以上、決議する。

平成25年6月21日
沖縄県豊見城市議会

編集後記

今年是全国的にも猛暑日が多く続いています。

その中でも、特に熱中症や干ばつ被害に悩まされ、全体的にさとうきびを始め農作物の被害も多く出ています。

自然災害と言えば、当県では昭和38年に、あられや霜柱などの異常現象が起った年で、また昭和56年から57年にかけては「326日間」にわたる給水制限もありました。未曾有の断水地獄と呼ばれていたのは、記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。

今年の猛暑が続く中で、そのような過去の干ばつになりかねない状況であり、本市でも多くの渇水・干ばつ被害が予測されますが、議会でもしっかりと調査や要請活動等を行い、6万人余の市民に対して安心・安全な生活ができるよう各種の支援体制に取り組みで行ければと思います。

紙面を御覧になる頃は9月ですが、まだまだ残暑厳しい季節です。

市民の皆様、暑さ対策をしっかりとして、ご自身やご家族の健康に留意して頂ければと思います。

（山川 仁）